

★新聞に掲載されました！★

【2010年6月8日(火)北海道新聞】

13

第3種郵便物認可

北海道新聞(夕刊)

2010年(平成22年)6月8日(火曜日)

海岸の清掃やバーベキューで交流

サポステ 初の野外活動

アジアの留学生らとのバーベキューで盛り上がった、はこだて若者サポートステーションの野外活動

登録者、留学生ら
「いい汗かいた」

引きこもりの若者などの社会参加を後押しする「はこだて若者サポートステーション」(略称「サポステ」)の初の野外活動が6日、函館市住吉町の海岸で行われ、若者が、日本の大学などで学ぶアジアからの留学生と海岸清掃やバーベキューで交流した。(上野香織)

サポステは学校に行かず仕事にも就かない「引きこもり」の若者の社会参加を支援する組織で、厚生労働省の委託を受け、市内10町の北海道国際交流センター(日イセンター)が運営。初めて6月に設立した。サポステは利用登録している若者2人と留学生29人、地域住民ら計50人が参加。住吉町の海岸で、引きこもりの若者や、14年ほど仕事についていないという市内の男性(89)は「こまめに外に出て、いい汗かいた」と話していた。中国から来日した留学生たちと交流した。

みなみ風

地域情報版

第4001号

9日 困

10日 困

◆函館市電200円均一料金「路面電車の日」(10日)にちなみ、終日実施。小学生以下は100円。市交通局 ☎0138・52・1273

北海道新聞

【2010年6月9日(水)函館新聞】

留学生29人が清掃活動

住吉の海岸 環境問題を考える

日本の大学で学ぶ留学生29人による海岸清掃ボランティア活動が6日、函館市住吉町で行われた。住民も参加し、計50人でゴミが散乱する海岸部を丹念に清掃した。写真は、道国際交流センターと企画

し、環境問題を考えるため海岸清掃を行った。留学生は中国や韓国など主にアジア出身者で、ほとんどがゴミ拾いなどの清掃活動は初めて。ゴミが散乱する沿岸部を見て「日本はきれいな国だ」と思っていたのでびっくりしたという意見も。軍手と長靴姿の留学生たちは、漁の網やペットボトルなどのゴミを恐る恐る拾っていたが、慣れてくると積極的に分別方法に参加者に聞いていた。海岸部1キロを丹念に清掃した結果、40以上のゴミ袋約150袋分となった。ネパール出身のバズネット・ビスヌ・バハデュルさん(26)は「ネパールもゴミが散乱している地域があるが、ボランティアで清掃する習慣はない。自国に帰ったら、みんな清掃活動してきれいな国にしたい」と話していた。(小山博美)

2010年(平成22年)6月9日(水曜日)

新函館新聞

HAKODATE SHIMBUN

2010年(平成22年) 6月9日(水)

発行所/函館新聞社
〒041-8540 函館市港町1丁目17番8号
電話 ☎2121 FAX ☎3131
販売局 ☎4141 FAX ☎7744

江差支局 東京支社 札幌支社
0139(52)1122 03(3545)1313 011(219)2727
©函館新聞社 2010